

<第45回日本骨形態計測学会主催>

市民公開講座（参加費無料・先着300名様限り）

於；大宮ソニックシティ小ホール

2025年6月26日（木）18:00～19:00（17:00受付開始・開場）

第45回日本骨形態計測学会 特別講演

ゲノムで読む日本人の成り立ち —DNAでたどる人類の行跡—

講師； 国立科学博物館館長
篠田謙一 先生



次世代シークエンサ*などの解析技術の発展によって、古代人のゲノムの解析が可能になったことで、これまで謎に包まれていた人類集団の起源や成り立ちについて新たな発見が続いている。本講演では、日本列島における集団の成り立ちについて、ゲノム研究の結果、明らかになっているシナリオについて解説する。

*；DNAの塩基配列を解析する機器

主 催； 第45回日本骨形態計測学会
会 長； 田中伸哉（東都春日部病院整形外科）
事務局； JCHOさいたま北部医療センター内

申し込み方法

お申し込みは下記URL又は2次元コードよりお申し込みください。お申し込みURL：<https://ws.formzu.net/dist/S57930843/>
お申し込み〆切日：2025年6月25日（水）
※お申し込み状況により期日より早く募集を終了する可能性がございます。

申し込み先 お問い合わせ

株式会社サンプラネット
第45回日本骨形態計測学会係
TEL; 03-5940-2614 FAX; 03-3942-6396
E-mail : jsbm45@sunpla-mcv.com
〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10 住友成泉小石川ビル6階



第45回日本骨形態計測学会

The 45th Annual Meeting of the Japanese Society for Bone Morphometry

講師紹介：国立科学博物館館長
條田謙一 先生

長の要

2025年
6月
大宮

1955年生まれ、1979年京都大学理学部卒業。博士（医学）。産業医科大学、佐賀医科大学を経て、2003年より国立科学博物館勤務。2014年人類研究部長、2021年より国立科学博物館長を務める。2016-2020年日本人類学会会長。

古人骨に残るDNAを分析して、日本人の起源と形成の過程を研究している。おもな会場は日本とその周辺の地域、また南米アンデス文明の変遷と集団の関係を追求している。

著書に『人類の起源』（中公新書、2022年）、『新版日本人になった祖先たち』（NHK出版、2019年）、『江戸の骨は語る』（岩波書店、2018年、科学ジャーナリスト賞受賞）『DNAで語る日本人起源論』（岩波書店、2015年）などがある。

出典：河鍋晚齋筆「骸骨図」より



JR大宮駅西口
歩行者デッキにて直結 徒歩3分です。

この市民公開講座は
ソニックシティホール
の**小ホール**で開催され
ます。

